

令和4年1月27日

ご家族様・関係者様各位

特別養護老人ホームサンホーム鶴間

施設長 天野 宏一

特別養護老人ホームサンホーム鶴間における新型コロナウイルス感染の状況について

日頃より格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

1月17日非常勤職員1名と入居者1名の新型コロナウイルス感染が確認され、入所者1名は入院治療を開始されました。職員については、自宅療養の指示にて療養観察を行い、保健所大和センター、大和市介護保険課、県高齢福祉課に報告とともに、神奈川県健康医療局医療危機対策本部室クラスター対策班の担当者のご相談・ご指示のもと、濃厚接触者の選定やゾーニング、感染予防・感染拡大の防止と対応を重ねてまいりました。

その後の経過ですが、利用者への感染の拡大は見られませんでした。職員については徐々に感染が広がり特養職員10名の陽性者が出てしまい、保健所の指示のもと自宅療養にて健康観察をしております。その後勤務している職員には、週1回受けている日本財団のPCR検査を行い陰性の確認をしながらご入居者様の支援にあたっています。

その間クラスター班のご指示を受け、既に関係機関にはご案内させていただいているところではありますが、法人で提供している在宅サービスの利用を中止したり等皆様にはご迷惑をおかけすることとなりました。また現在も再開に向けては模索中であり、ご迷惑をおかけしましたこと、誠に申し訳ございません。

その後のご報告する機会がなく、今回の報告となってしまいご心配をいただいた皆様にはご迷惑をおかけしました。入院加療をしておりました入居者様は、本日無事退院いたしましたことをご報告いたします。また17日に陽性が確認されました非常勤職員も療養期間が解除され、職場復帰いたしました。ほかの療養している職員も入院することなく自宅療養を継続しておりますが、明日以降徐々に職場復帰をする予定であります。

多くの皆様にご心配とご迷惑をお掛けしました。今後も職員の週1回の定期的なPCR検査の継続と感染予防に努めてまいります。

大変ご迷惑をお掛けしておりますが、今後ともご協力とご支援をお願いいたします。